

# ATEM Newsletter

ATEM公式サイト <http://www.atem.org/>

May, 2024

No.46

## 支部・委員会活動報告特集

発行 : 映像メディア英語教育学会事務局  
(旧映画英語教育学会)  
住所 : 〒605-8501  
京都市東山区今熊野北日吉町 35  
京都女子大学 文学部  
横山仁視研究室内  
E-mail : office@atem.org

映像メディア英語教育学会 / The Association for Teaching English through Multimedia

## ■会長挨拶

ATEM 会長

横山 仁視 (京都女子大学)



ATEM President

YOKOYAMA Hitoshi

(Kyoto Women's University)

私は 2018 年秋の第 24 回全国大会の総会で、鈴木博初代会長から数えて 6 代目の会長に就任いたしました。以来 2 期会長を務めました。本年 11 月の第 29 回全国大会の総会をもって任期満了となり、退任致します。このニューズレターの挨拶も今回が最後となります。

私が会長を務めてきたこの 5 年半の ATEM 理事会の特徴をひと言で表すと、「コロナ禍と闘った理事会」だったと言えるでしょう。2020 年の新学期開講直前から世界を襲った新型コロナウイルス感染拡大への対応を余儀なくされ、2023 年度まで全国大会は中止またはオンライン大会という変則的な形をとらざるを得ませんでした。それでも STEM 発信の SVP (STEM Virtual Presentation) の受け入れ、および北海道支部発祥の OOPS (Open Online Presentation Series) によるオンライン学术交流など、新しい形の研究活動が生まれました。オンラインだからこそ、支部を超えた学会活動への積極的な参加を期待したのですが、それはある程度成功したのではないかと思います。私たちはコロナ禍に対する明確な勝利を宣言することはできませんが、少なくとも「負けなかった」と自負しております。

一方、従来は協力企業にお任せしていた学会事務を、私が会長になってからは研究者の理事だけで運営することになり、事務局の物理的移動のみならず、年次決算報告書フォーマットの変更、旧会員管理システムの老朽化に伴う新規会員管理システム MiiT+ (ミータス) の導入・運用、ゆうちょ銀行のシステム変更に伴うトークン対応など、様々な改革を進めました。昨年の総会では、学会の活動内容を正確に反映するような学会正式名称「映像メディア英語教育学会」への変更も行いました。

2022 年 3 月を最後に活動を休止している中部支部の再建については、支部再建懇談会の先生方のご協力により正式に中部支部が活動を再開する日も近い、と報告させていただきます。ちなみに 11 月の全国大会でも、再建懇談会中心の SIG が発表される予定です。

このように ATEM の未来を明るく照らす要素がある反面、会員数の維持・拡大、全国大会・支部大会の活性化、ジャーナルの充実など、次期会長に引き継ぐ課題も少なくありません。任期も残り半年となりましたが、その間に未解決となっている問題にできる限り道筋をつける所存です。末筆ではありますが、これまで諸活動にご協力いただきました会員諸氏の皆様にお礼申し上げるとともに、至らぬ会長を支えて下さいました現理事の皆様へ心からの感謝の意を伝えさせていただきます。

最後に、本年度の第 29 回全国大会を 11 月 9 日 (土) に京都女子大学で開催します。2019 年以来久しぶりの全面的に対面での開催となります。会員・賛助会員・STEM の皆様と再会できることを心待ちにしております。

# 第 29 回 映像メディア英語教育学会 (ATEM) 全国大会

The 29<sup>th</sup> ATEM (The Association for Teaching English through Multimedia) National Convention

開催日：令和 6 年 11 月 9 日 (土) Date: Nov. 9th (Sat.), 2024

会場：京都女子大学 Place: Kyoto Women's University

テーマ：映像メディアに英語教育のヒントを見つける —異文化理解の視点から—

Theme: Finding Hints for EFL Education in Multimedia: Focusing on Intercultural Perspectives

本年 11 月 9 日、ATEM は「映像メディアに英語教育のヒントを見つける」をテーマに、第 29 回全国大会を 5 年ぶりの対面形式で開催致します。過去数年のオンライン大会も有意義な催しでしたが、やはり交流という面では対面形式に勝るものではありません。今大会では、バーグランド先生の特別講演を始め、個々の会員や SIG(研究グループ)による興味深い研究発表を各部屋で直接お聴き頂けます。秋の京都での学びと交わりの機会を、皆さま是非ご堪能下さい。

## ■ 特別講演

### 人生、そして映画 —わが異文化体験を語る—

My Intercultural Experiences in Life and in Movies

講師：Jeff Berglund 先生 (ATEM 特別顧問、京都外国語大学教授)



バーグランド先生は、1980 年代の TV クイズ番組『世界まるごと HOW マッチ』の解答者としてお茶の間の人気を博し、外国人タレントの草分けとして活躍されましたが、その後は異文化間コミュニケーションの研究者として、関西の大学で教鞭を執っておられます。今大会では、先生の半世紀にわたる日本での生活と映画鑑賞を通して得た異文化体験についてお話し頂きます。

【講師プロフィール】 アメリカ合衆国出身。1969 年に来日し、1992 年まで同志社高等学校の英語科教諭。以降、異文化間コミュニケーションを専門分野として複数の大学で研究・教育に携わる傍ら、NHK 教育テレビはじめ多数のメディアで司会やコメンテーターを務める。『さくらんぼに見えた梅干し』(青心社)、『日本から文化力』(現代書館)、『受ける日本人 繋がる日本人』(出版芸術社)など著書多数。

### 【研究発表応募方法】

※ホームページの ATEM ニュースをご覧ください。

※English presentations will be welcomed.

**募集期間：2024 年 6 月 6 日 (木) ~ 7 月 7 日 (日)**

応募資格：2024 年度分会費を納入済の ATEM 会員

※会費納入の確認に数日を要しますので、早めにご納入ください。

**大会参加費：会員¥2,000 非会員¥3,000**

学生証提示で無料

(当日払い。事前申し込みは不要です。)

**懇親会費：¥5,000**

(当日払い。事前申し込みが必要です。) ※懇親会への参加申込方法については HP の ATEM ニュースをご覧ください。

**受付期限は 10 月 20 日 (日) です。**

大会詳細は、発表者決定後、ATEM の HP に掲載します。HP へは、QR コードからもアクセス可能です。



## プログラム

09:00	受付開始
09:45-09:55	開会式
10:00-10:30	STEM 特別発表
10:35-11:00	研究発表 1
11:05-11:30	研究発表 2
11:35-12:00	研究発表 3
12:05-12:25	総会(会員のみ)
12:25-13:25	休憩
13:30-13:55	研究発表 4
14:00-14:25	研究発表 5
14:30-14:55	研究発表 6
15:00-15:25	研究発表 7
15:30-15:55	研究発表 8
16:00-16:25	研究発表 9
16:30-17:30	特別講演
17:30-17:35	閉会式
17:50-19:30	懇親会

※SIG の発表は通常の発表時間の中 (25 分または 55 分) で行われます。

※詳細は、発表者決定後、ATEM ホームページに掲載します。

## ■支部だより

### [北海道支部]

◆2024年1月27日(土)に第12回となる北海道支部大会を開催しました(ZOOMでのオンライン開催)。今回は、「これまであまり使われてこなかったメディア/映画/ジャンルのユニークでチャレンジングな活用方法」という、少し遊び心を入れ込んだテーマを掲げ開催をしました。北海道支部から3件、他支部などから3件、そして北海道支部会員4名によるシンポジウム1件という、充実した内容での開催が実現しました。取り上げられたトピックにはヘビーメタルやビートルズ、そしてAIについては2件の発表で取り上げられ、昨今の科学技術の進化を反映する実践が報告されました。全国から35名の方にご参加いただき、盛会のうちに終了しました。ご発表、そしてご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。

◆今年度も月例ミーティングにあわせて、カジュアルな情報交換の場である「マイシェア」を開催しております。毎回担当を決め、研究発表から相談事の共有まで、多様なトピックで交流をしています。過去数回は、2023年度の実践報告、Instagramの活用法、語彙学習方法などのテーマで交流をおこなってきました。他支部会員の方の参加・発表も大歓迎ですので、ぜひお立ち寄りください(飛び入り歓迎)。

◆北海道支部のX(@ATEMhokkaido)では支部情報とミニコラムを週に一本ずつ投稿しています。ぜひフォローをお願いいたします。



(支部長：斉藤 巧弥)

### [東日本支部]

◆支部の役員体制が変わりました。副支部長には小泉勇人先生(東京工業大学)に加えて中村佐知子先生(東北大学)、HP担当に大月敦子先生(専修大学)に加えて竹原文代先生(神田外語学院)、支部会計に濱中啓子先生(東京都立忍岡高等学校)がそれぞれ新たに加わります。

◆全国大会から約1か月後の2023年12月17日(日)に第14回支部大会をハイブリッドで実施しました。様々な支部メンバーのご発表およびご参加に恵まれ有意義に進めることができました。役員をはじめ関係の先生方にお礼申し上げます。ご発表いただいた先生は、以下の7名です。

三村仁彦先生(帝塚山大学 全学教育開発センター)

Sachiko NAKAMURA 先生(Tohoku University)

Christopher R. Cooper 先生(Rikkyo University)

山本五郎先生(法政大学)

塚田三千代先生(翻訳/映画アナリスト)

Yoshikazu NISHI 先生(ATEM Hokkaido)

高橋亮太先生(兵庫県立大学4年)

◆2024年5月26日(日)に麗澤大学新宿キャンパス(西新宿)で対面で実施の例会について、プログラムなど詳しくは支部HPをご覧ください。その後、2024年9月頃に東北(仙台)で特別研究会、12月に第15回支部大会(東京)を予定しています。詳細は今後ご連絡しますが、支部HPでもご確認ください。

◆映像メディア英語教育・研究などに関するヒントが詰まった記事を、年に数本のペースで支部HPに掲載しています。是非、ご覧ください。

(支部長：日影 尚之)

## 【西日本支部】

◆2024年度の西日本支部大会は、昨年度と同様に、9月に京都で対面形式での開催を予定しています。次回の大会では生成AIの活用に関するセッションを検討しております。また、今年度より、京都先端科学大学の森岡千廣先生が支部の運営委員に新しく加わってくださることになりました。昨年の支部大会で配布いたしました、「著作権ハンドブック」を西日本支部のHPでも公開しておりますので、日々の教育研究活動にぜひお役立てください。また、支部会員が執筆するコラム「映像メディアと英語」の配信も継続しておりますのでご覧ください。今後とも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

(支部長：近藤 暁子)

## ◆第29回ATEM全国大会会場◆ 京都女子大学



(上) 正門 (下) 錦華殿

## 【九州支部】

◆今年度より、九州支部長を務めさせていただくことになりました、鹿児島女子短期大学の石田もとなど申します。どうぞよろしくお願いいたします。2023年度の支部大会は、8月26日(土)、佐賀大学本庄キャンパス教養教育2号館において、対面方式で開催いたしました。松中完二先生(久留米工業大学)のacceptを基にした映画の台詞から見る語の多義性と意味認識の原理に関する考察、大学院生の中山聡さん(西南学院大学大学院)による「伝わる英語」に関する調査と考察、石田の映画*Desert Flower*から学ぶ世界の現実、全国大会シンポジストである砂川典子先生(北海道教育大学釧路校)による文学的手法を用いた映画の分析、村田希巳子先生(北九州市立大学)によるアメリカ文学とアダプテーションに関する考察と、合計5件の発表がありました。言語学、英語教育法、LGBTQ問題、文学、異文化・宗教など多岐にわたる発表内容で、活発な質疑応答も行われ、ご参加いただきました皆様方には、大変充実した時間を過ごしていただけたのではないかと思います。また、参加して下さった開催校の佐賀大学の学生さんたちからは、「有意義で楽しい時間でした」「卒論執筆へのモチベーションが上がりました」等のうれしいメッセージもいただきました。これからも和やかでありながら学びの多い活動をしていきたいと考えておりますので、九州支部を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

◆今年の支部大会は、2024年9月7日(土)、福岡大学にて開催いたします。沢山の方のご参加をお待ちしております。



(支部長：石田 もとな)

## ■委員会だより

### 【国際交流委員会】

◆昨年度は STEM 国際大会の対面実施が再開され、ATEM からはキーノート・スピーカーを含め 10 名が発表し、国際交流をしました。また、対面で実施される今年度の ATEM 全国大会には、STEM からの参加が期待されることから、両学会の間でコロナ禍以前同様の交流ができると思われます。ぜひ、全国大会では Warm Welcome をお願い致します。このような状況下、STEM から、「ATEM の会員の皆様に、さらに積極的に STEM ジャーナルへ投稿していただきたい」との嬉しいお言葉もいただいております。これまで STEM ジャーナルへ投稿したことのない先生方も、これを機会に投稿をご検討いただければと思います。今年度の STEM 国際大会へもぜひ積極的にご参加ください。

◆コロナ禍が少し落ち着き、今後 ATEM 会員の先生方も国内外の学会参加が増えることが予想されます。そうした際に、もし映像メディアに興味がある方と交流する機会があれば、ATEM の存在をアピールしていただければ幸いです。今後、さらに国内外で活発に交流の輪を広げることを目指しています。

◆韓国の STEM (The Society for Teaching English through Media) は ATEM の姉妹学会で、相互の大会への参加やジャーナルへの投稿を中心に国際交流を行っています。STEM の先生と共同研究を希望される方は、ライアン・スプリングまでご連絡ください。 [spring.ryan.edward.c4@tohoku.ac.jp](mailto:spring.ryan.edward.c4@tohoku.ac.jp)

(委員長：Ryan Spring)

#### 姉妹学会情報

### STEM 国際大会

開催日：2024 年 10 月 5 日 (土)

会場：Hankook University of Foreign Studies

★追加情報は、ATEM の HP や Twitter で！

### 【会員管理委員会】

◆会員管理システム MiiT+ (ミータス) へのログイン方法は、最終ページに記載されている「会員専用ページ (MiiT+ (ミータス))」をご参照ください。MiiT+ のご利用には本人認証が必要ですが、本人認証が完了していない会員の皆様は、<https://miitus.jp/t/ATEM/login/temp/> から速やかに本人認証をお済ませいただけますようお願い申し上げます。上記 URL の一番下にある「仮ログイン ID 入力」をクリックすると、「仮ログイン ID」「仮パスワード」「Email アドレス」を入力する画面が表示されます。以前、「ATEM (映像メディア英語教育学会) メール」から送られた「本人認証のお願い」というタイトルのメール内に記載されている「仮ログイン ID」および「仮パスワード」を入力してください。その後「電話番号」を入力する画面が表示されます。ATEM に登録している電話番号 (登録していない場合は 000-0000-0000) を入力すると、次の画面に進みます。さらに指示に従って入力すると、本人認証が完了し、MiiT+ にログインすることができます。その他の詳細は、ATEM ウェブサイト <http://www.atem.org/> からダウンロードできるマニュアルに記載されています。

(委員長：嘉来 純一)

### 【ICT委員会】

◆当委員会では、先のニューズレターでもお知らせしたとおり、ジャーナル編集委員会との協力のもと、ATEM ジャーナル第 23 号以降の記事を J-STAGE へ掲載する作業を進めてまいりました。そしてこの度、第 28 号までの登録を完了することができました。会員の皆様には長らくご不便をおかけいたしました。今後ともご活用いただきますようお願いいたします。ATEM 本部サイト・トップページから「論文・紀要」→「ATEM ジャーナル」の順にページを開くと各号ごとに掲載論文のリストが表示されます。それをクリックすると、J-STAGE の該当ページが開き、そこでは論文の抄録を閲覧でき、また論文全体を PDF ファイルでダウンロードすることも可能です。

(委員長：巳波 義典)

## 【大会運営委員会】

◆本年のATEM全国大会は、11月9日（土）に京都女子大学にて、5年ぶりとなる対面で開催されます。ジェフ・バーグランド先生（ATEM特別顧問、京都外国語大学教授）による特別講演、ATEM会員・STEM会員による発表、各SIG（Special Interest Group）による共同発表、およびATEM総会などが予定されています。盛会になりますよう、各会員・各支部のご支援ご協力をお願いいたします。

### 全国大会の詳細は本部 HP に掲載します。

※<http://atem.org> トップ画面（ATEM News）→「第29回 ATEM 全国大会」からアクセスできます。  
※大会で研究発表を希望する会員は、HP の ATEM ニュースに掲載された「大会発表募集要項」に従ってお申し込みください。

（委員長：藤枝 善之）

## 【Newsletter 編集委員会】

◆いつも本紙への情報提供にご協力いただいております皆様に、心よりお礼申し上げます。本紙は年2回、春夏号と秋冬号を発行しております。例年2月発行の秋冬号は、オンライン版のみとなっておりますので、本部HPをご確認ください。同HPでバックナンバーもご覧いただけます。

◆2024年の全国大会では、研究発表会場や懇親会の様子などの写真を撮影し、本紙や学会本HPで使わせていただきます。皆様のご協力に感謝申し上げます。

（委員長：秋好 礼子）

## 【ジャーナル編集委員会】

◆ATEM ジャーナル第29号には12編の論文の投稿がありました。分野別では、教育5編、言語5編、文化1編、文学1編でした。また支部別では、北海道2編、東日本4編、西日本4編、九州1編、中部と九州の共著1編と、すべての支部から投稿がありました。今回は、論文の審査に20名の査読委員の皆様のご協力を賜りました。お忙しいところ審査いただき、改めて御礼申し上げます。厳正なる審査の結果、7編の論文（研究論文5編、教育実践報告2編）が掲載されることとなりました。

◆ATEM ジャーナルの電子ジャーナル化につきましては、ICT委員会との協力のもと、J-STAGE への書類申請をすすめ、第28号までの登録が完了しました。またATEM ジャーナルの投稿規程や投稿者用ガイドラインにつきましては、今後もその内容をより理解しやすいものに改善すべく努めてまいります。会員の皆様におかれましては、論文を投稿される際には是非、投稿規程、ガイドラインをご確認の上、論文、書式等の要件を遵守くださいますようお願い申し上げます。次号につきましても、皆様からの論文のご投稿をお待ち申し上げます。

（委員長：足利 俊彦）

## ●ATEM 論文リンク集●

J-STAGE で閲覧が可能な、ATEM ジャーナル『映像メディア英語教育研究』掲載論文および研究報告は下記 URL よりアクセスできます。

<http://atem.org/papers.html>

本部 X・旧 Twitter (@ATEM\_news)でも  
情報発信をしています。



## ■書籍紹介

### 『銀幕でお食事を ～シネマでなり きり英会話』

大月敦子

メトロポリタンプレス社

2023



本書の表紙とタイトルを見て「テーマは食事？映画・TVドラマ？英会話？そして本のジャンルは？」と聞かれることが多々あります。これに対して「ジャンルはそれら全て」とお答えしています。2022年の日本記録大賞を受賞した「Habit」（世界の終わり：セカオワ）という歌の中に、“人間は分類したがる生き物”という歌詞がありますが、本書は、まさにこの分類癖を捨てています。映画やTVドラマの映像に映し出される食事や料理の文化や歴史を楽しみ、「文脈」を意識しながら英音声・英字幕で視聴して英語の台詞を理解し、アフレコ練習で英会話の習得につなげようという戦略のもと、次の12作品から構成されています。

- 1話 カナダ開拓者たちの食事『アンという名の少女』
- 2話 アメリカ人のソウル・フード  
『ヘルプ～心がつなぐストーリー～』
- 3話 アフタヌーンティーという食文化『レベッカ』
- 4話 地方中流貴族たちの食卓『高慢と偏見』
- 5話 冒険の先々で『インディ・ジョーンズ 失われた聖櫃』
- 6話 空港内で暮らす人々『ターミナル』
- 7話 生き方を食に例えて『フォレスト・ガンプ 一期一会』
- 8話 働く女性たちとニューヨークのグルメ  
『ブラダを着た悪魔』
- 9話 プリティッシュをどっぴり食す『リトルダンサー』
- 10話 時を超えてフレンチの魅力を『ジュリー&ジュリア』
- 11話 服役囚たちの食事から見えてくるのも  
『ショーシャンクの空に』
- 12話 嘘でもいいからデジタル世界の料理が食べたい  
『マトリックス』

本書編集者が「心に残るあの名作をトリビアと英語の隠し味でもっと美味しく」と、お洒落で的を射た副題を添えた通り、読み物としても、テキストとしても、映像を楽しく観ながら、勉強感ぬきに英語を身につけるためのヒントを紹介しています。

(専修大学 大月 敦子)

### 『映画で見る ジェンダー』

監修：安田優、松本恵美、  
轟里香

英宝社 2023



本書は、日本とアメリカの文化や社会を、ジェンダーを手掛かりに読み解きながら、総合的な英語力を高めることに焦点を合わせたテキストです。ジェンダーと聞くと、難しいし自分とは関係ないとする人もいるかもしれませんが、しかし、専業主夫・主婦に関わる案件や独身者に対する差別、外見差別やLGBTに関する課題など、ジェンダーの問題は、私たちの生活の至る所に関わっており、女性と男性両方に大いに影響するものなのです。この問題についての理解を深め、新たな視点を得ることは、日々の生活を送る上でも役立ちますし、全く異なる文化圏で育った人たちと議論や意思疎通の際にも有用です。

各章には、コラムや映画の要約文を使ったリスニング・タスク、語彙問題、内容確認問題、文法問題、また学んだことをアウトプットするためのタスクなど、英語力を高め、内容理解を深めるタスクが含まれています。しかし、学びの軸となるのは、男性学の権威である伊藤公雄氏と、國友万裕氏の書き下ろしエッセイです。そこでは、インセルやオタクをはじめとする様々なトピックが、日本映画とアメリカ映画に言及する形で論じられており、学習者はジェンダーについての考え方を深化させ、日本とアメリカの文化・社会を比較考察することができます。エッセイで扱われている映画を見ていなくても、その内容を理解できる構成になっていますが、もし興味を持った映画があれば、実際にその映画を鑑賞すると、エッセイ内容をより深く捉えられるでしょう。学習者はエッセイの内容を鵜呑みにする必要はありません。むしろ、テキスト外の文献も参照しながら、國友氏の意見を批判的に検討した上で、自らの見解を確立し、それを英語で発信する練習・契機として本書を活用してほしいと考えます。

(関西外国語大学 安田 優)

## ■会員専用ページ（会員管理システム）

「会員専用ページ(マイページ)」は本部ウェブサイト「Menu」の「会員」から「会員専用ページ」へログインしご利用ください。 <http://atem.org/>

The image shows the ATEM website interface. On the left is a navigation menu with 'MEMBERSHIP' circled in red. A red arrow points from this link to a box labeled '会員専用ページ LOGIN'. A green arrow points from the menu area to the login form on the right. The login form has fields for 'メールアドレス' (Email Address) and 'パスワード' (Password), and a 'ログイン' (Login) button. Below the form is a link for 'パスワードを忘れた方はこちら' (Click here if you forgot your password).

新会員管理システム MiiT+（ミーラス）では、「マイページ」から会員情報の変更、支払い履歴の確認が可能です。※不明点は本部事務局へお問い合わせください。

## ATEM Clapper Board



1. 本年度（4月1日～翌年3月31日）の会費振込用紙が同封されております。6月30日までに納入ください。個別の納入状況については、本部HP内にある「会員管理システム」（アクセス方法はこの頁の上部参照）で確認できます。

※振込用紙の通信欄にどの年度の会費かについて西暦の数字を記入して下さい。今年度の会費の場合は「2024」、昨年度と今年度の会費の場合は「2023-2024」とご記入下さい。

2. 昨年度より新しい会員管理システムが導入されております。HPおよび上記をご参照下さい。

事務局長：藤枝 善之  
office@atem.org

### <賛助会員一覧>（50音順）2024.4.1現在

朝日出版社／英宝社／桐原書店／金星堂／  
国際トラベル京都／コスモピア／松柏社／  
成美堂／センゲージラーニング／モデル・  
ランゲージ・スタジオ

### ～編集後記～

- ・お忙しい年度末・年度初めにもかかわらず、原稿作成や校正にご協力くださった皆様、心より感謝申し上げます。
- ・次号（No.47、第29回全国大会特集）は、2025年2月の発行を目指しております。

[NL 編集委員会] 2024.4.1 現在

委員長：秋好 礼子（九州）

委員：田口 雅子（北海道）杉浦 綾子（東日本）  
衛藤 圭一（西日本）吉村 圭（九州）

